

社会課題対応型都市公園機能向上促進事業（官民連携による総合的な公園整備・管理運営）の概要（R5～）

公園全体での民間活用の拡大に向け、地方公共団体の取組を調査から整備まで一貫して支援できる仕組みを整えるため、官民連携による総合的な整備・管理運営の導入が具体化した案件を重点支援する。

内容

公共施設等運営事業など、官民連携による総合的な整備・管理運営の導入が具体化した案件を重点支援するため、社会課題対応型都市公園機能向上促進事業の対象とし、個別補助金化。

官民連携による総合的な公園整備・管理運営（Park-PPP）

- 【予算】** 社会課題対応型都市公園機能向上促進事業
- 【目的】** 公共施設等運営事業など、官民連携による総合的な整備・管理運営を重点支援し、新たなPPP/PFI活用モデルの案件を実現する。
- 【要件】** 面積：0.25ha以上
 - 官民連携：民間事業者が収益施設の運営に加え、総合的な公園の管理運営を行うこと。
例・Park-PFIと公園全体の指定管理を一体で公募
・PFI等による施設整備とあわせ公園全体にコンセッションを導入
 - 費用削減：公共負担が1割以上削減されること（公園全体にコンセッションを導入する場合は除く）
Park-PFIの場合、特定公園施設整備費の公共負担が10%削減。PFI事業の場合、VFMが10%以上。
- 【対象】** ・公園施設の整備
・都市公園の用地取得
- 【国費率】** 施設費：1/2 用地費：1/3

補助対象となる事業のイメージ

